



2025年12月期 中間決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年8月8日

上場会社名 株式会社エスアイイー

上場取引所 東

コード番号 292A

URL [http:// sie.co.jp/](http://sie.co.jp/)

代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 藤 正幸

問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 藤井 聖士

(TEL) 03(6206)8414

中間発行者情報提出予定日 2025年9月17日

配当支払開始予定日

—

中間決算補足説明資料作成の有無 : 無

中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期中間期の業績(2025年1月1日~2025年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	3,291	14.6	104	△4.4	108	△5.5	75	△4.7
2024年12月期中間期	2,870	—	109	—	114	—	79	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	25.24	22.32
2024年12月期中間期	26.48	—

(注) 1. 当社は、2024年12月期より中間財務諸表を作成しているため、2024年12月期中間期の増減率は記載しておりません。

2. 2024年12月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式は存在するものの当該中間会計期間末において当社株式が非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	2,341	432	18.5	144.03
2023年12月期	2,217	521	23.5	173.79

(参考) 自己資本 2025年12月期中間期 432百万円 2024年12月期 521百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	0.00	55.00	55.00
2025年12月期	0.00		
2025年12月期(予想)		—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2024年12月期の期末配当金は利益剰余金を配当原資としております。

直近の配当予想で未定としておりましたが、2025年12月期中間期末日を配当基準日とする配当につきましては、今後の事業展開に備えた内部留保の確保等を優先すべきと判断し、無配とさせていただきます。また、2025年12月期末日を配当基準日とする配当予想額は引き続き未定としております。

2. 2024年12月期 期末配当金の内訳 普通配当金35円 記念配当20円(上場記念配当)

3. 2025年12月期の業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,937	17.0	206	0.1	220	0.8	151	△1.3	50.42

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

（1）中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年12月中間期	3,000,000株	2024年12月期	3,000,000株
2025年12月中間期	-株	2024年12月期	-株
2025年12月中間期	3,000,000株	2024年12月期中間期	3,000,000株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期累計）

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨ものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）業績予想など将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	2
（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
（1）中間貸借対照表	4
（2）中間損益計算書	6
（3）中間キャッシュ・フロー計算書	7
（4）中間財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（中間財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理）	8
（セグメント情報）	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間(2025年1月1日~2025年6月30日)におけるわが国の経済は、緩やかな回復基調を維持しつつも、外部環境の不透明感が企業活動に影響を及ぼす展開となりました。

特に、米国による関税政策の見直しは、日本企業にとって大きな懸念材料となりました。これにより、輸出依存度の高い製造業を中心に収益性の低下やサプライチェーンの再構築を迫られる企業が増加しています。

一方、国内では日銀による利上げが実施され、デフレ脱却への期待が高まる中、賃金上昇と物価上昇の好循環が一部で見られました。ただし、個人消費の回復は限定的で、物価高による実質購買力の低下が消費マインドを抑制しています。

このような経済状況のもと、当社の事業領域であるIT市場におきましては、企業のデジタルビジネス化に向けたITシステムの移行や最新化、DX実装に向けた需要がいずれも活発化し市場は拡大しております。また、市場拡大に伴うIT人材不足の懸念は高まっており、より一層IT人材への需要は高まっております。

(ITスクール事業)

法人からの研修受注が想定を下回ったことから、売上高は112,821千円(前年同期比83.8%)にとどまりました。

(人材ソリューション事業)

採用競争の激化により、新卒者の確保に一時苦戦をしたものの、中途採用の強化により、技術者数の積み上げを行うことができました。IT人材に対するニーズは引き続き旺盛であり、売上高は、新規顧客の獲得、派遣条件の見直しにより2,943,459千円(前年同期比112.8%)と好調裡に推移しました。

(コンテンツソリューション事業)

ゲーム事業における大型案件の受託開発の増加により売上高は234,795千円(前年同期比185.6%)と高い成長となりました。

この他、SAK大学部東京イノベーションキャンパスの開校に向けた、準備のための費用の支払いが生じております。

以上の結果、売上高は3,291,076千円(前年同期比114.6%)、営業利益104,295千円(前年同期比95.6%)、経常利益108,312千円(前年同期比94.5%)、中間純利益75,729千円(前年同期比95.3%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当中間会計期間末における流動資産の残高は1,739,726千円で、前事業年度末に比べ2,837千円増加しております。これは主に売掛金の増加80,129千円、契約資産の増加116,985千円及び現預金の減少201,869千円によるものであります。

(固定資産)

当中間会計期間末における固定資産の残高は601,587千円で、前事業年度末に比べ121,247千円増加しております。これは主に社宅建設のための建設仮勘定の計上75,800千円、SAK大学部東京イノベーションキャンパス用賃貸物件等の敷金の計上42,396千円によるものであります。

(流動負債)

当中間会計期間末における流動負債の残高は1,874,649千円で、前事業年度末に比べ215,323千円増加しております。これは短期借入金の増加175,800千円、賞与引当金の増加135,408千円及び未払金の減少100,549千円が主な変動要因であります。

(固定負債)

当中間会計期間末における固定負債の残高は34,400千円で、前事業年度末に比べ1,968千円減少しております。これは長期借入金の減少によるものであります。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産の残高は432,265千円で、前事業年度末に比べ89,270千円減少しております。これは剰余金の配当による減少165,000千円、中間純利益の計上75,729千円がその主な変動要因であります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ201,869千円減少し、当中間会計期間末には728,376千円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は、74,332千円となりました。これは主に、税引前中間純利益108,312千円の計上及び賞与引当金の増加135,408千円による収入があった一方で、契約資産の増加116,985千円、未払金の減少100,549千円及び売上債権の増加80,129千円による支出があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、136,368千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出79,397千円、敷金及び保証金の差入による支出42,396千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は、8,832千円となりました。これは主に、短期借入金の純増による収入175,800千円及び配当金の支払165,000千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の通期業績予想につきましては、2025年2月12日に公表いたしました業績予想から変更ありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当中間会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	935,246	733,379
売掛金	676,770	756,900
契約資産	45,692	162,677
貯蔵品	3,737	2,773
前渡金	2,788	10,123
前払費用	57,326	72,885
その他	15,474	1,170
貸倒引当金	△147	△184
流動資産合計	1,736,889	1,739,726
固定資産		
有形固定資産		
建物	45,066	45,066
機械及び装置	7,581	7,581
工具、器具及び備品	22,189	24,368
土地	276,036	276,036
建設仮勘定	-	75,800
減価償却累計額	△36,385	△39,866
有形固定資産合計	314,488	388,985
無形固定資産		
商標権	880	1,140
ソフトウェア	69,089	74,236
ソフトウェア仮勘定	-	347
無形固定資産合計	69,969	75,724
投資その他の資産		
出資金	100	100
破産更生債権等	32,500	32,500
長期前払費用	908	368
繰延税金資産	75,510	75,510
敷金及び保証金	19,364	60,898
貸倒引当金	△32,500	△32,500
投資その他の資産合計	95,882	136,877
固定資産合計	480,340	601,587
資産合計	2,217,229	2,341,314

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当中間会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,582	23,144
短期借入金	670,000	845,800
1年内返済予定の長期借入金	3,936	3,936
未払金	581,879	481,330
未払費用	23,727	44,544
未払法人税等	43,159	32,520
未払消費税等	135,166	103,752
返金負債	7	4
前受金	14,684	18,982
預り金	23,186	38,027
賞与引当金	146,997	282,406
その他	-	199
流動負債合計	1,659,326	1,874,649
固定負債		
長期借入金	36,368	34,400
固定負債合計	36,368	34,400
負債合計	1,695,694	1,909,049
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
利益剰余金		
利益準備金	7,500	7,500
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	483,855	394,585
利益剰余金合計	491,355	402,085
株主資本合計	521,355	432,085
新株予約権	180	180
純資産合計	521,535	432,265
負債純資産合計	2,217,229	2,341,314

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自2024年1月1日 至2024年6月30日)	当中間会計期間 (自2025年1月1日 至2025年6月30日)
売上高	2,870,911	3,291,076
売上原価	2,320,719	2,693,384
売上総利益	550,192	597,692
販売費及び一般管理費	441,092	493,396
営業利益	109,099	104,295
営業外収益		
受取利息	7	408
受取配当金	3	3
受取家賃	1,057	933
助成金収入	2,792	4,148
ポイント還元収入	3,503	3,634
その他	4	201
営業外収益合計	7,367	9,329
営業外費用		
支払利息	1,283	4,605
受取家賃原価	400	354
その他	164	352
営業外費用合計	1,847	5,311
経常利益	114,620	108,312
税引前中間純利益	114,620	108,312
法人税等	35,193	32,583
中間純利益	79,427	75,729

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	114,620	108,312
減価償却費	10,440	14,344
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△51	36
賞与引当金の増減額 (△は減少)	130,516	135,408
受取利息及び配当金	△10	△411
支払利息	1,283	4,605
助成金収入	△2,792	△4,148
売上債権の増減額 (△は増加)	△54,590	△80,129
契約資産の増減額 (△は増加)	△4,528	△116,985
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,172	963
立替金の増減額 (△は増加)	14,681	12,370
買掛金の増減額 (△は減少)	994	6,562
未払金の増減額 (△は減少)	△11,733	△100,549
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△27,454	△31,414
その他	△18,135	20,405
小計	152,067	△30,629
利息及び配当金の受取額	10	411
利息の支払額	△1,286	△5,041
助成金の受取額	2,792	4,148
法人税等の支払額	△8,766	△43,221
営業活動によるキャッシュ・フロー	144,817	△74,332
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,001	△5,003
定期預金の払戻による収入	5,001	5,001
有形固定資産の取得による支出	△5,650	△79,397
無形固定資産の取得による支出	△20,094	△14,939
敷金及び保証金の差入による支出	-	△42,396
その他	391	367
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,353	△136,368
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	-	175,800
長期借入金の返済による支出	△1,968	△1,968
配当金の支払額	△150,000	△165,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△151,968	8,832
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△32,503	△201,869
現金及び現金同等物の期首残高	757,454	930,245
現金及び現金同等物の中間期末残高	724,950	728,376

（4）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報）

当社は、人材ソリューション事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。